令和６年度 琉球大学ブランド商品開発支援事業

※提案書中の例示・注釈等は申請時に削除してください。

商品化アイデア提案書

１．提案教員プロフィール

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ﾌﾘｶﾞﾅ |  | 所属 |  |
| 氏名 |  | 職名 |  |
| 経歴 |  |
| 専門分野 |  |
| メンバー | ※ブランド商品開発を検討している、主なメンバーと役割をお書きください。※学生も関与する場合はその旨もご記載ください。 |

２．連携企業等

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 企業名 |  | 連絡先担当者名 |  |
| 事業概要 |  |
| 担当分野 | ※本事業で大学と連携して担当する分野等をお書きください |
| 将来展望 | ※本事業で開発した商品等の活用についてお書きください |

３．商品化アイデア

|  |  |
| --- | --- |
| 商品名 |  |
| 商品の概要・特徴 | ※競合する商品との差別化、優位性等も含めてお書きください。※市場への参入は容易か。 |
| 知的資産の活用 | ※知的資産の活用についてお書きください。※琉球大学ブランドとしてのアピールポイントをお書きください。 |
| 商品化の課題 | ※商品化の課題及びその解決方法についてお書きください。※連携する企業等が商品開発を具体的に実施できるかも含めてお書きください。 |

４．開発スケジュール

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　　　月作業項目 | ７ | ８ | ９ | １０ | １１ | １２ | １ | ２ | ３ | 備考 |
| ① |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ② |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ③ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ④ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ⑤ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

５．予算（備品不可）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 費目 | 概算（千円） | 積算内訳 | 備考 |
| ① |  |  |  |
| ② |  |  |  |
| ③ |  |  |  |
| ④ |  |  |  |
| ⑤ |  |  |  |
| 小計 |  |  |  |
| 消費税 |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |

６．他の支援事業への提案状況

|  |
| --- |
|  |

７．アピールポイント＜自由記入＞

|  |
| --- |
| ※これまでの記載事項以外にアピールしたい点（共同研究、他の商品開発、SDGsへの貢献等）等自由にお書きください。 |

８．遵守事項

[ ]  　本事業へ応募するにあたり、本事業の公募要項に記載されている「９．商品化における遵守事項」を遵守できることを提案教員及び連携企業等、製品開発の関係者間で確認しました。

※参考

９．商品化における遵守事項

連携企業は、以下のルールを守って開発した商品を販売するものとする。

1. 「琉球大学ユニバーシティ・アイデンティティに関する規程」「琉球大学UIガイドライン」に基づき、所定の条件（申込、契約、使用料支払い）の下に商品パッケージに琉球大学のエンブレムを使用すること。
2. 商品説明などの欄に「琉球大学ブランド商品開発支援事業」で開発した商品であることが分かる記載をすること。　（例：「この商品は「令和◯年度琉球大学ブランド商品開発支援事業」で開発されました。」）
3. 製品開発に本学の保有する特許または商標等の知的財産権を使用する場合は、実施料等を定めた実施許諾契約を本学と締結すること。なお、知的財産権は使用せず、研究シーズ、ノウハウ、デザイン等の知的財産権に含まれない知的資産を使用する場合は、①の琉球大学エンブレム使用料を支払うこと。